

第1704回
**例会
プログラム**
2001・8/9 No.6



WEEKLY REPORT

友愛

例会場：名鉄菜館
開会点鐘：12:30
ロータリーソング：奉仕の理想
内容：会員増強月間に因んで
会員増強(委員)

会長挨拶

長 田 吉 弘



先日、財団委員長の稲葉君と富士宮ニューグランドホテルで行われた財団セミナーに行ってきました。主な説明は、人道的プログラム、教育的プログラム、研究グループ交換プログラムの内容でしたが、心に残ったのは「財団奨学生制度の希少性について」。奨

学金制度の激減傾向の中、志望者の上限もなければ専攻分野の限定もない奨学生制度として、財団奨学生の制度は実に貴重なもの、希少なものとなってきています。

しかも、単なる奨学金制度、給付金制度といったものではなく「国際親善使節」として役割を重視するという特異な光を放つ奨学生派遣システムの価値は計り知れません。財団奨学生制度の社会的意義は益々高まるばかりであるだけに、この制度に将来の希望を賭けようとしている、優秀で、しかも学業と国際交流の両面に対する意欲に満ちた志願者が数多くいるということを今後ともご理

解していただきたい、とのことでした。

御殿場ロータリークラブでも、今迄に5名の奨学生を出しています。

これからも皆様のご協力をお願い致します。

8月 御殿場RC例会プログラム

月 日	時 間	会 場	内 容	担当及び卓話者
8/2	12:30	ホテル御殿場館	四大奉仕委員長 所信表明	社会奉仕委員長 国際奉仕委員長
8/9	12:30	名鉄菜館	会員増強月間に 因んで	会員増強(委員)
8/16	12:30	御殿場インターホテル	新会員卓話	大庭健一郎君
8/23	12:30	東山荘(講堂)	新世代のための月間に因んで (私の主張発表大会より)	青少年奉仕委員会
8/30	18:30 (20:00まで)	東山荘(講堂)	教員海外研修報告	国際奉仕委員会

次回
8月16日の
例会

1705回 12:30点鐘
御殿場インターホテル

第2620地区御殿場ロータリークラブ

例会日/木曜日 12:30 ~ 13:30
例会場・事務局/YMCA東山荘
電話/0550-83-1133 FAX/0550-83-1138
<http://www.gotemba-rc.gr.jp/>
静岡県御殿場市東山1052
会長/長田 吉弘 会報委員長/芹澤 正明



ロータリーは親睦にはじまり、職業奉仕に目覚め、それが社会奉仕に展開、ついに国際奉仕の花を咲かせたのであります。

ロータリアンである奉仕の理想の共鳴者が世界中に広がり、自己の繁栄と公共への奉仕が両立するロータリアン同志が知り合うことによって

お互いの心の中に平和の砦が出来るものと考えています。これが国際奉仕の根本的理念であると思います。

外国旅行の際は、当地クラブを訪問し、バナーを交換し、これによって個人的な交際をはじめます。又、地域に来訪した外国人を歓待します。

進んでは青少年の交換等による人的交流をはかります。

国際奉仕とは2大奉仕活動に言い尽きます。

国際奉仕教育的プログラム青少年交換事業人的交流（GSE）人道的プログラム 世界社会奉仕事業 青少年交換事業2620地区 受入学生10名（米・ブラジル・メキシコ・タイ・ハンガリー・オーストラリア）派遣学生9名（米・ブラジル・タイ・ハンガリー・オーストラリア）“受入及び派遣”は3月と8月の2回です。これは国によって新学年始業月が異なるためです。

現在、次年度派遣学生として芹澤正明君の子息が申し込みを行っております。

奉仕の心(一灯、照隅、万灯、照国)社会奉仕委員長 山崎 恭 夫



ロータリークラブの創立者、ポール・ハリスは、1905年当時の社会が人心は荒み、犯罪は、巷に充ち満ちて、混乱と激動の最中、この事を憂慮し住み良い社会に構築するには、人の和を図り世の中に奉仕する気持ち、を多くの人がもつようになることが、なによりも大切だと熟慮し、

人々に呼び掛けたのがシカゴクラブの発祥となり、今や志を同じくするもの、世界で163ヶ国、クラブ数29,968、会員数110余万人に及ぶ同志を擁している今日であります。御殿場クラブも上述の運動に共感した多くの同志諸氏の努力により誕生して35周年を迎えるに至り、これ迄の間地域社会に奉仕することに深く携わって来た処であります。また誘われてロータリーメンバーに

なろうと決心した我々誰もが、心の隅に「少しは世の中のためになろう。人のために何か役立つことをしよう。」という思いをもって入会したに違いありません。その時の気持ちこそ奉仕の心の芽生えであります。

ロータリアンは地域社会の一員として個人生活、職業生活、及び社会人としての生活の上で、常に「奉仕の理想」を实践し、促進する事が要請されている旨、綱領に明示されています。

正にロータリアン一人ひとりの奉仕、それから自分の家庭からそして職場を通じて更に地域社会へと伸びて行く事が社会奉仕の本願と言えます。従って他の団体のように団体的社会奉仕活動をする事は極めて稀であり、我々の活動は一見地道なものだと言われています。

又ロータリークラブ自体、奉仕をする団体でなく、奉仕をする人々の集まりの世話機関であって、委員会自体も会員に奉仕に係わる情報を提供したり、奉仕についての勉強をして貰い、ロータリアン各々の心の中にある「奉仕の理想」を高揚し、又は鼓舞し合い（奉仕の情熱の灯を一層燃え盛らせ、進んで奉仕を行う指導者たらんことを目指してもらうための補助機関であると考えています。そこで社会奉仕委員会は何をすべきかをクラブ細則が示唆しております。

1. 人間尊重に寄与すること。
2. 地域発展に寄与すること。
3. 環境保全に寄与すること。
4. 協同奉仕に寄与すること。

以上の事柄について、ロータリーは英知と倫理観、経済力を結集して地域社会の人々を啓発したり、鼓舞することを推奨しています。特に最近多くの人々の関心事であります環境問題、人と自然の共生等について様々な課題が投げかけられています。憂慮されるところ多いとしますが、大方は行政が当然やる事だと考えている事も承知しています。社会的価値の尺度が経済的成功と自己中心的な考えにより、本来のありようからずれて来た感じがします。換言すれば人は経済的利益のみで動き「愛する心」「責任感」などを養う土壌が荒廃して来たからだと言う人もいます。環境問題は私たち一人ひとりの意識改革が必要だと思ひます。

8月2日のスマイル

- ・臼井君よりありがたい写真をいただきました。
勝間田豪亮・豊山譲・菅沼久
- ・稲葉博之さん、7/28のロータリー財団委員長会議ご苦労様でした。
会長幹事

前回の出席報告

会員数	計算に用いる 会員数	出席数	暫定出席率	前々回の 確定出席率
63名	59名	55名	93.22%	100%

欠席者（4名）

・水口正宏君・根上眞一君・岡本隆典君・斉藤礼志君

メーキャップ（7名）

- ・8月1日 長 泉 神谷 高義君
- ・7月6日 裾 野 勝間田豪亮君
- ・7月16日 沼津東 水口 正宏君
- ・7月11日 長 泉 高村 繁男君
- ・7月11日 長 泉 滝口 喜徳君
- ・7月27日 裾 野 戸栗 太平君
- ・7月8日 長 泉 渡辺 巖君